

革新的河川管理プロジェクト(第一弾)

オープン・イノベーションを採用し、最新の科学技術を、スピード感をもって、6ヶ月～1年以内で河川管理への実装化を目指す。

河川管理の高度化

IoTの実装
ビッグデータの実装

水害等の対応の高度化

陸上・水中レーザードローン

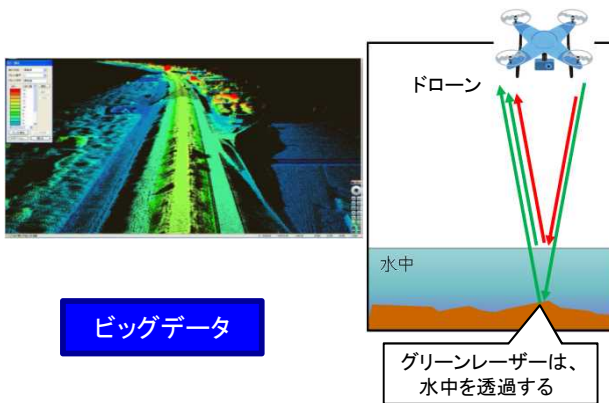
課題

- ・ 現在のドローン測量では植生下は×
- ・ 航空レーザー測量はコスト大



面的連続データによる河川管理へ

- ・ 航空レーザー測量システムを大幅に小型化し、ドローンに搭載
- ・ グリーンレーザーにより水面下も測量
- ・ 低空からの高密度測量



河川管理の高度化

クラウド型・メンテナンスフリー水位計 (洪水時に特化した低コストな水位計)

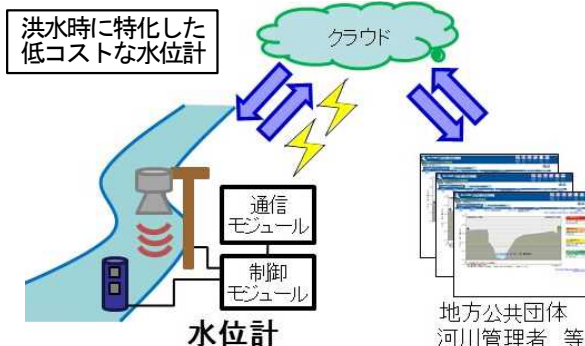
課題

- ・ 初期投資がかかる
 - ・ 維持管理コストがかかる
- 水位計
普及の隘路



低コストの水位計を実用化し普及を促進

- ・ 長期間メンテナンスフリー
- ・ 省スペース → 設定場所を選ばない(橋梁等へ添架)
- ・ 通信コストの縮減
- ・ クラウド化でシステム経費の縮減
- ・ 低コスト(1台100万円以下を目標)



水位計、浸水センサーの増設

全天候型ドローン

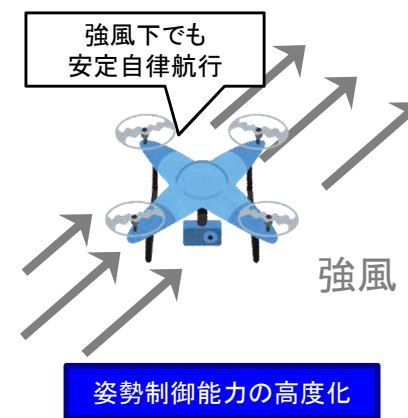
課題

- ・ 台風接近時に現地確認手段が不足



天候の完全回復を待たずに強風下でも状況把握

- ・ 強風下でも安定して自律航行可能



災害時の迅速な調査